

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和8年4月8日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 若港
所在地	〒808-0066
代表者役職・氏名	代表取締役 六田 啓二
担当者連絡先	電話：093-761-6835
	メール：mizushima@wakamatsu-kk.jp
ウェブサイトURL	https://www.wakamatsu-kk.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は、1967年に北九州における港湾の開発と地域発展のため、地元の漁業組合を中心に設立しました。港湾土木工事業を主体に、港湾施設の整備および補修工事や浚渫・埋立工事などを行っています。特に浚渫事業では、自社保有のグラブ浚渫船「響永」と「海響」の2隻によって柔軟な施工体制を築き、多大な成果を得ています。
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	自治体と協力した清掃ボランティア活動の参加	【現状】2026年 年／6回程度 【目標】2030年 年／12回以上
□環境 ✓社会 □経済	ハラスメント講習など、社員教育を充実化させる	【現状】 年／2回 【目標】 年／12回
□環境 ✓社会 ✓経済	女性就業率の向上を図り、女性管理職を増やす	女性就業率 【現状】9% 【目標】15%以上（女性管理職割合：9%以上）

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別せず、 本人の能力に基づいた公平な評価を実施している								8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	全ての従業員（役員を含む）に対して、ハラスメント行為を防止する講習会などを実施している								8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・グループウェア等導入など従業員の業務効率化をサポート ・社内の様々な休暇制度の活用を従業員に促している。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・安全衛生推進者の設置 ・定期的に全従業員に向けた安全教育訓練を実施（月1回以上）			3				8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	ストレスチェックの実施（年2回）			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	子育て応援支援事業者の登録				5.1 5.2 5.5			8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	資格取得の支援および職務内容に応じて研修や講習会を実施している			4	5.5			8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	同一労働同一賃金等ガイドラインに沿った社内体制の整備・対応を実施している				5.5			8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・従業員の健康診断の際、多様なオプション（検査）の追加を促している ・Vitalityの導入			3				8										
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	自治体と連携した廃品の分別回収を実施している										11.6 12.4 12.5			14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	電力消費量の削減の為、電力使用量の管理システムを導入し、削減計画を策定							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	NOx二次規制に対応した船舶を完備している							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	有資格者を増やしている			3.9			6.3				11.6	12.4						
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	環境に配慮した資材の利用や、工法を工夫するなどして生態系に影響を及ぼさないようにしている						6.6								15			
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	作業船に汚水処理装置を配備し、浄化した汚水の再利用を行っている						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001を取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	自社ホームページにて、環境保全の活動やSDGsの取組みを開示している											12.6						
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2					13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO9001を取得			3.9								12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001を取								9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	自社が保有する作業船が、蓄電システムを利用した電力供給や飲料水の提供など、被災地支援を考慮した設計をしている						6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	大学と連携して、土木工事の効率化に向けた共同研究を進めている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	高校生や大学生を対象とした現場見学会などを実施し、自社の活動を発信している				4				9		11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・自治会への寄付や清掃ボランティア活動への参加を行っている ・高校、大学で寄附講座を実施している				4						11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外銷）している	地元業者を優先的に利用している							8	9		11	12	13					
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	ホームページにてSDGsの取組みを公表								8	9							17	
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	法令遵守の徹底を社内にて共有している																16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	担当部署を設置し、企業理念に基づいた誠実な取組みを推進及び展開している																16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー ^(※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	発注者および協力業者との意見交換を交わし、相互理解の基、事業を進めている																16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	マネジメントシステムに基づいた、リスクの特定・評価を実施																16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	清掃ボランティア活動支援などの社会貢献や従業員の安全や健康に配慮した職場環境づくりに取り組んでいる																16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している								9		11		13					16	
事業承継	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	継続して新卒者の雇用や、社員教育や研修のよって、事業継承の対策をしている							8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

[illegible]